

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

Purpose（志、大義）

人とネットワークの持つ可能性を解き放ち、伝統と革新で豊かな未来を創る

売上高
2,200億円

営業利益率
9.5%

サービス比率
50.0%

ROE
20.0%

2 中長期の経営戦略

1. 事業戦略

スマートマニュファクチャリング、Society5.0、デジタルガバメントの3領域で売上高合計300億円伸長を目指す

3. 財務戦略

戦略的投資、財務基盤強化、株主還元のバランスを取り、資本効率を重視した経営を推進

2. サービス戦略

ネットワーク技術と目利き力を活かし、競争力のあるクラウドサービスとDXコンサルティング領域を拡大

4. 企業文化改革

過去の不祥事を繰り返さない企業文化を根付かせ、3年目の理念体系浸透を「個」の施策にシフト

3 対処すべき課題

① 不正事案の再発防止

- ・ガバナンス・内部統制システムの強化
- ・企業文化モニタリング調査の継続実施
- ・全社員向け学びの場「企業文化未来センター」の運営

② サステナビリティへの対応

- ・安心・安全な社会実現へ社会課題解決型のソリューション提供
- ・グリーンソリューション開発による脱炭素社会への貢献
- ・マテリアリティ4項目の推進と計画的なKPI達成

③ 経営基盤の強化

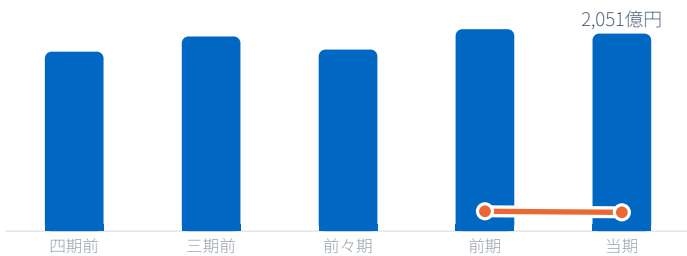
- ・全社最適化へ向けた業務改革とシステム統制強化
- ・データ民主化による全社の利用環境整備と分析高度化
- ・グループ会社ガバナンスの統一と内部通報窓口運用

面接で使えるポイント

- ・ICTインフラの安全性・高品質化を通じ、スマートマニュファクチャリング等3領域で2022年比300億円売上伸長を目指す
- ・2024年3月期から企業文化未来センター設置、過去の不祥事の学びを全社で共有し二度と起こさない体制構築
- ・2031年3月期に向けセキュリティ人財80名、クラウド人財50%増、女性管理職15%を具体目標に人財育成強化

EDINETコード E04966

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,051億円

営業利益率
9.5%

財務健康度
62点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 59.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
830万円

平均年齢
40.0歳

平均勤続
9.0年

女性管理職
7.9%

男性育休
74.0%

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

要するに

当社及び子会社5社から構成されており、最先端技術及び商品を利用したICTシステム

主力事業・セグメント

- ・Area・Public 29.9%
- ・Enterprise 26.9%
- ・サービスProvider 22.0%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高2,051億円の事業規模
- ・営業利益率9.5%の安定した収益性

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

